



おおざ

大笹環境活動の会（孺恋村）

地区の概要

中間農業地域

取組面積	588.7 ha (畑 588.7 ha)
資源量	水路 12.7 km 農道 120.6 km
主な構成員	農業者、非農業者、自治会、消防団、老人会、若妻会
交付金	約 2,885 万円
〔 農地維持支払 資源向上支払（共同、長寿命化） 〕	

- 孺恋村は群馬県北西部に位置する全国有数の夏秋キャベツ産地である。その中で大笹地区は村西部位置し、標高約1,000mに広がる農地で夏秋キャベツを中心に栽培されている。
- 本地区では、少子高齢化の進行により地域住民による農村環境保全活動実施の実施が難しくなっていた。また、農地や農業用施設の管理が一部の担い手に集中し、管理の行き届かない部分があった。
- 本活動を通じて、地域で一体となった環境保全活動や施設の管理を目指している。

推薦項目

<input type="checkbox"/> 子供の参画	<input checked="" type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input checked="" type="checkbox"/> 行政と連携
<input type="checkbox"/> 地域交流	<input type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 広報
<input checked="" type="checkbox"/> 環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 工事
<input checked="" type="checkbox"/> 遊休農地解消	

活動内容・成果

- 老人会や婦人会により景観形成のための植栽を行っている。また、積極的に水路、農道の維持管理や更新を行い、営農環境の保全に注力している。
- 各活動により地域の一体感が醸成され、農地や農村環境を自分たちで守る意識が根付き、地区内の遊休農地の発生が抑えられている。

波及効果

- 活動を通じて農地や農村環境が地域の資源であるという認識が浸透しているため、今後も継続的に保全活動が行われると期待できる。



◇農業用施設の機能診断

◇水路の更新

◇婦人会による花植

◇本会の総会